

農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

タイトル 事業間連携による管内果樹農家への同行訪問の実施

J A 名 利根沼田 （群馬県）

<p>1 動機 (経緯)</p>	<p>当 J A では、取扱量増加や貯金の獲得を目的に、営農部・金融共済部といった事業部門の垣根を越えて、こんにやく農家に対する同行訪問を実施しています。</p> <p>この取組みを通じて一定の成果が得られたことを踏まえ、新たに観光農園や直売等を主体とする果樹農家に対して同行訪問を実施しました。</p>
<p>2 概要</p>	<p>J A 管内全地区の果樹農家（さくらんぼ・ぶどう・りんご）を対象とし、収穫時期には集金・両替等のサービスと併せて訪問活動を実施しました。</p> <p>なお、訪問については営農渉外担当と金融渉外担当が同行して実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 農業関連資材の取扱量増加と農業資金の P R ○ 販売代金の獲得を図るための集金及び両替サービスに伴う貯金推進 <p>【各果樹の収穫時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さくらんぼ… 6 月中旬～ 7 月中旬 ・ぶどう … 8 月下旬～10 月中旬 ・りんご … 10 月上旬～11 月下旬
<p>3 成果 (効果)</p>	<p>営農渉外担当と金融渉外担当が同行訪問することにより、訪問先での相互補完が可能となり、効率的な訪問活動を実施することができ、両部門の連携強化にもつながりました。</p> <p>営農渉外担当者からの訪問先の指南等により、特に新任等の経験年数が浅い金融渉外担当者の訪問先拡大を図ることができました。</p> <p>果樹農家との関係強化にも一定の効果があったものと考えており、J A 事業の更なる利用拡大も期待されています。</p>
<p>4 今後の予定 (課題)</p>	<p>事業間連携の実践により効果的な推進活動を実施することが、J A 事業の伸長につながるものと感じています。</p> <p>今後もこの取組みを継続していくとともに、他品目の生産農家に対しても展開していく予定です。</p>

【訪問時の様子】



【栽培されている果樹】

